

# 詰連珠ドリル

## 【上級編②】

サンプル

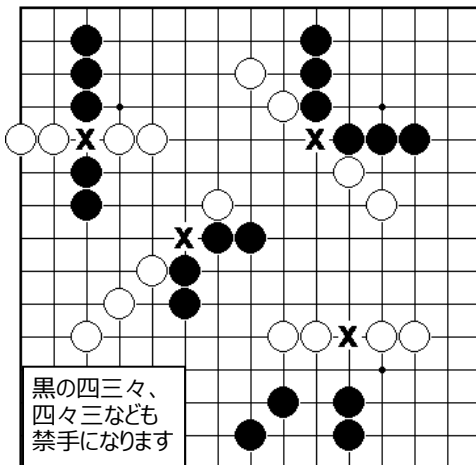
出題：河村典彦九段

2024年3月1日発行

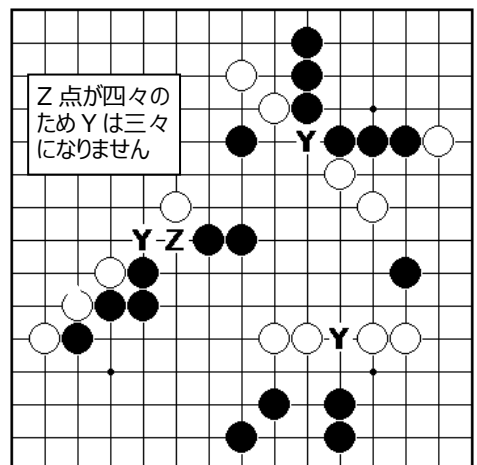
## 【連珠のルール】

- 連珠盤（15×15）を使います
- 黒石と白石を使います
- 黒が先手、白が後手で交互に打ちます
- 黒は最初に中央の「天元」に打ちます
- 縦、横、斜めのいずれかに早く「五連」を並べた方が勝ちです
- 黒にのみ、三々、四々、長連の禁手があります  
白は黒に禁手を打たせても勝ちです

【禁手の例】



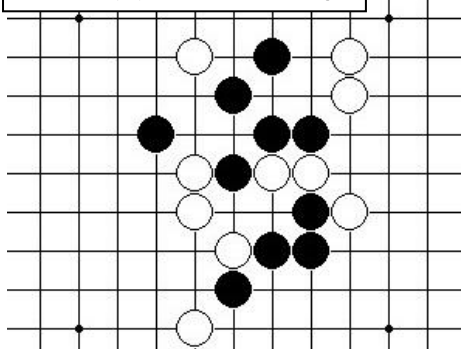
【禁手にならない例】



上級編の2冊目です。①と同じく1手～5手詰が中心となっています。手数は短くとも、難易度はかなり難しくしてあります。特に白の3手勝ちでは黒の防ぎも併せて考える必要があります。どの問題にも言えますが、ノリ手には十分注意してください。

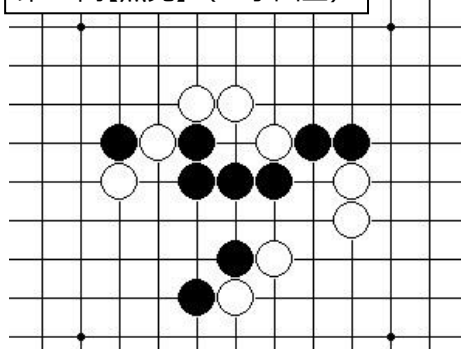
いつものように黒先問題を70問、白先問題を30問合計100問ご用意しました。各問題にヒント、解答にはちょっとした解説をつけていますが、禁手を理解していないとわからないことが多いと思います。初心者のうちは手を出さず、実力が上がった時にチャレンジしていただいた方が詰連珠を嫌いにならなくて済みます（笑）。腕に自信のある方、ぜひチャレンジしてみてください。

第1問【黒先】（三手棒四）



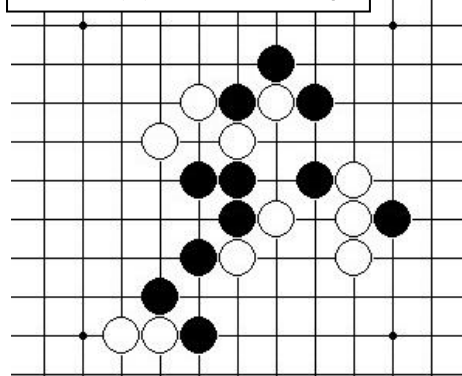
正しい四三を見極めてください

第2問【黒先】（一手四三）



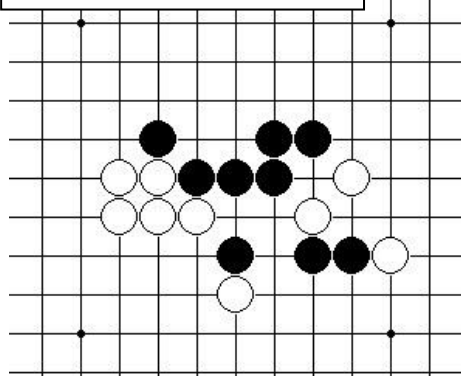
四々を打たないように注意してください

第3問【黒先】（三手棒四）



ノリ切り勝ちを目指します

第4問【黒先】（一手四三）



ノリ手に注意が必要

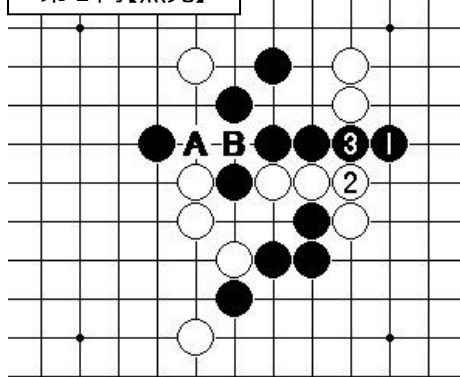
## 詰連珠を解くコツ

- ・四ができる場所に注目する
- ・ノリ手（止めた手が四や三になる手）や禁手に注意する
- ・トビ四、トビ三、斜めの筋は見づらいので特に意識して見る
- ・わかったと思っても、頭の中で再度確認する

この難解編も1手で勝てる問題ばかりなのですが、三々禁や四々禁を解禁して棒四を作る、など難しい問題も入っていますし、見えづらいノリ手も含まれています。回答を見てもわからない場合は、上級者の人に聞いてみましょう。

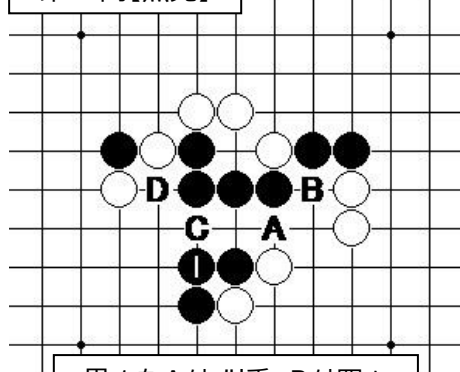
### ● 解答

第1問【黒先】



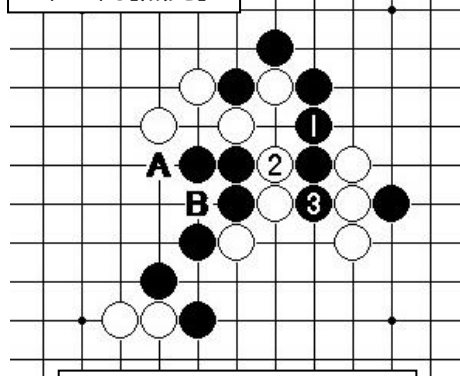
黒1をAは四三々、Bはノリ手です

第2問【黒先】



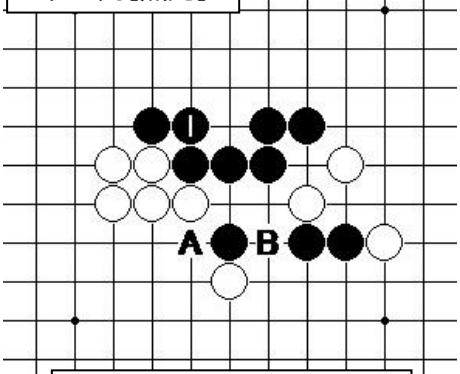
黒1をAはノリ手、Bは四々  
CやDは四三になりません

第3問【黒先】



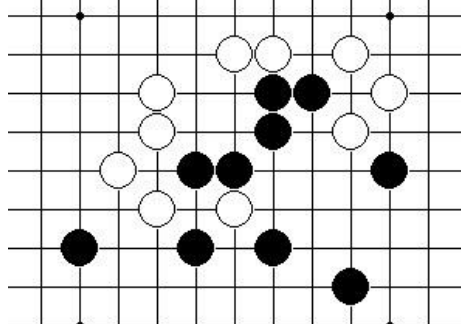
黒1でAやBはノリ手です

第4問【黒先】



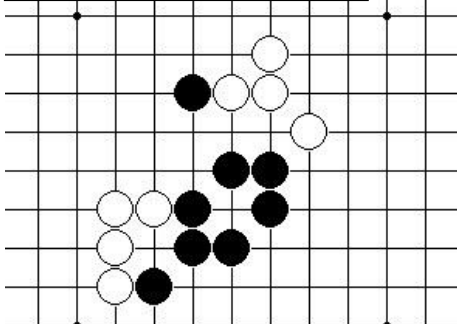
黒1をAやBはノリ手です

第5問【黒先】（一手四三）



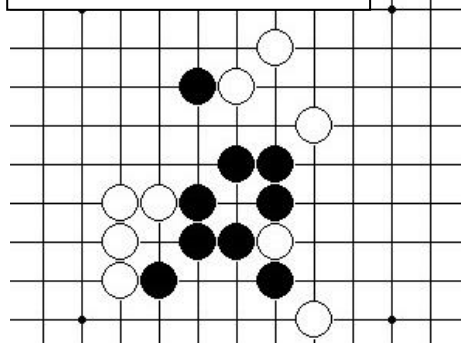
二セの四三に騙されない

第6問【黒先】（三手棒四）



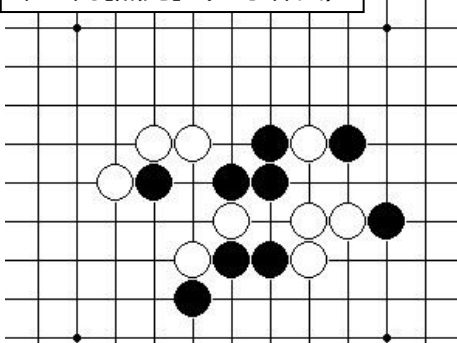
ノ切り勝ちを目指します

第7問【黒先】（一手四三）



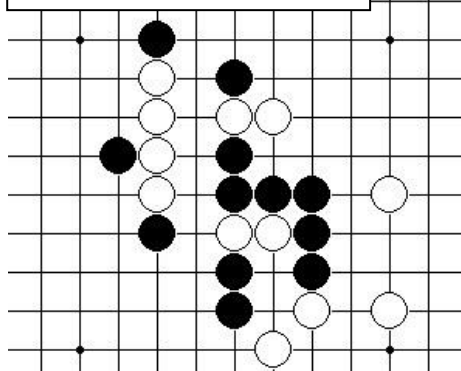
四々に注意してください

第8問【黒先】（三手棒四）



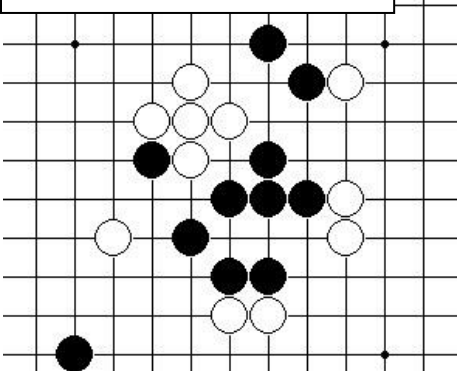
三々や四々を打たないように

第9問【黒先】（三手棒四）



ノ切り勝ちを目指します

第10問【黒先】（一手四三）



ノリ手や四々に注意してください

